



八木橋義則 議員

環境対策

LED 街路灯の試験導入を 計画的な導入の考えない

町長 LED灯は寿命が長く電気代も安くなり管理上の優位点が高いのですが、機器そのものの価格が一般的な街路灯と比較して高価なため、現在のところ町道路線等における計画的な導

議員 本町においても経費節減、省エネを考え、街路灯照明の間引き・減光をしています。明くる住みよい活力あるまちづくりを推進するため街路灯、防犯灯のLED灯を使った試験導入に対する見解を伺います。①本町所有の街路灯は620基中146基間引き、深夜消灯を46基されているが経費節減されている電気料金はいくらか。②新たに街路灯の間引きを検討している地域はあるか。③公共施設内の照明をLED灯に替える考えはあるか。

町長 今のLED灯については、取りかえできれば一番いいのですが例えば1灯10万円かかります。そうすると、100灯取りかえると1千万円かかるわけです。そういうような状況の



入は考えておりません。①平成16年度と比較すると20年度は137万の削減となり約20%の節減効果がありました。②現在のところ新たな間引きをすることは考えておりません。③既存器具の故障による取替えと新規の施設における照明灯の設置につきましては、LED灯に替えていく方向で進めたいと考えます。



LED街路灯の照射面。黒いツブツブに見えるところがLED。

中でこれが何千灯になった場合、当然かえることができればいいのですけれども、今般の財政状況で、そういったものの対応が可能なか議員さんにお聞きしたい。

議員 私は、電柱から取りかえろと言っているのではないです。電気の球1つ取りかえればいいのです。1個1万円くらいで買えますから。そういうことを私言っているわけです。一遍に620基全部取りかえなさいとは言っていないです。だから、試験導入をして、どのぐらいの効果があるかというのをやってください。よと言っているわけです。